

「健康都市おおぶ」の新たな拠点

健康づくり身体活動支援センターを2026年秋に開設します！

大府市は、身体活動を基礎とした健康づくり施策を総合的かつ一体的に展開し、健康で活躍できる地域づくりを推進する新たな拠点「大府市健康づくり身体活動支援センター」の開設に向けた準備を進めています。このたび、健康・運動・看護・医療などの専門家による有識者会議（委員長：武藤芳照（ムトウ・ヨシテル）東京大学名誉教授）における検討結果を踏まえて、同センターの設置管理条例案および関連補正予算案を6月定例会へ上程します。

■ 大府市健康づくり身体活動支援センターの概要

施設の概要／ 住所：大府市東新町 3-1-11

施設の名称	施設の構成	開館日／開館時間
大府市健康づくり 総合支援施設	大府市健康づくり 身体活動支援センター	火曜日～土曜日／午前9時～午後5時 ※ 水曜日は、午後8時まで
	大府市第二 レインボーハウス	月曜日～金曜日／午前8時30分～午後5時

職員等の配置／館長、保健師、公認心理師、理学療法士

健康運動指導士、管理栄養士（アドバイザー）

■ 6月補正予算の概要（計15,301千円）

健康測定・評価事業／

- ・足の握力測定器、脳健康計測アプリ

運動・身体活動プログラム事業／

- ・NCGG-HEPOP（ヒーポップ）®（高齢者向けの在宅でもできる運動プログラム）
- ・まちかどエクササイズ（音楽と組み合わせたやさしい運動プログラム）
- ・女性の健康プログラム
- ・身体活動の啓発パンフレットの制作

健康づくり栄養講座事業／

- ・栄養講座講師謝礼
- ・管理栄養士（アドバイザー）の設置

その他施設管理に関する事業／

- ・相談室等吸音パネルの設置
- ・健康増進施設の認定手数料

■ 大府市健康づくり身体活動支援センターの運営等に関する有識者会議

市出身で東京大学名誉教授の武藤芳照氏をはじめ、長野県東御市の（公財）身体教育医学研究所、島根県雲南市の身体教育医学研究所うなん、国立長寿医療研究センター、人間環境大学、日本福祉大学、中京大学の健康・運動・看護医療などの専門家で構成しています。



■ 大府市健康づくり身体活動支援センターの概要

同センターは、身体活動を基礎とした健康づくり、交流、地域の健康課題の把握および健康づくりの普及啓発、人材の育成等の施策を総合的かつ一体的に推進するため、次の5つの機能を中心に事業を実施します。

	機能	概要
1	健康づくり	健康測定・評価、健康相談・助言、運動・身体活動プログラム、栄養講座、教育・啓発事業等を実施し、市民が自らの健康状態を把握しながら、健康づくりに取り組める環境を整備する。 また、市の保健師等が測定・評価結果や活動状況等のデータを活用し、一人一人の状況に応じた継続支援を行うことで、市民の行動変容につなげる。
2	交流	運動・身体活動に加え、市独自の取り組みとして音楽（バイオリン、コーラス等）、eスポーツ等の多様な活動を通じて、本施設を利用する児童生徒から高齢者まで、幅広い交流を促進する。
3	地域づくり	本施設を拠点に市の保健師等の専門職が地域へアウトリーチし、健康課題を把握するとともに、出張による運動・身体活動教室、健康相談等を通じて、健康づくりを普及啓発する。
4	健康政策	大学、研究機関、医療機関、企業、地域団体など、市内外の多様な主体と連携し、健康づくりに関する調査研究・実証事業を継続的に実施する。各施策の成果をデータに基づいて評価検証し、結果を実践に反映させることで、科学的根拠に基づく「健康都市」政策を推進する。
5	人材育成	本施設を人材育成の拠点として位置づけ、学生・生徒の実習・実践の場として活用する。大学等と連携し、健康測定・評価、運動・身体活動プログラム、地域へのアウトリーチ等の実践的な活動を行うことで、教育・研究と地域での実践を結び付け、将来の健康づくりを担う人材の育成を図る。

■ 参考資料 大府市健康づくり身体活動支援センター事業フレーム

【問い合わせ先】 大府市企画広報戦略課 担当：鈴木 康幸（スズキ ヤスユキ）
電話：0562-45-6212 FAX：0562-48-4808 メール：kikaku@city.obu.lg.jp